

2022年度 早稲田大学大学院文学研究科 入学試験問題
【修士課程】 一般外国語 朝鮮語 ※解答は別紙（縦・横書）

次の問題Ⅰ、Ⅱに答えなさい。

Ⅰ. 下記の朝鮮語の文を日本語に訳しなさい。

（出典：이택호『죽기 전에, 더 늦기 전에 꼭 해야 할 42 가지』미래의 서재, 2021, pp. 96-101 からの抜粋）

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

Ⅱ. 下記の日本語の文を朝鮮語に訳しなさい。

（出典：成川彩「韓国映画を育てた韓国の観客たち」『ユリイカ』5月号 第52巻第6号（通巻758号）青土社、2020、pp.135-139からの抜粋）

「韓国の観客の皆さんがいなければ、この場にいなかったでしょう」

二月のアカデミー賞授賞式で、CJグループの副会長が語った言葉だ。（中略）

映画は、観客がいて成り立つ。韓国は特に観客の反応が大きく作用する国だと思う。

振り返れば、私自身が韓国映画にはまったきっかけも、実は韓国の観客の情熱に惹かれたからだった。二〇〇二年、日本の大学を休学し、韓国へ語学留学した当初、韓国語はできないに等しい状態だった。それでも映画好きの私としては、劇場で映画が見てみたかった。友人に勧められたのは、『おばあちゃんの家』。「ほとんどセリフがないから、彩でも分かる」と、勧められた。

大きな期待はせずに劇場を訪れると、なんと立ち見だった。日本で立ち見を経験したのは、『タイタニック』と宮崎駿監督のアニメーションぐらい。ほとんど子どもとおばあちゃんが出ているだけの映画に、韓国の観客はこんなにも反応してくれるのか、と感動した。それだけ素晴らしい映画ではあったが、果たしてこの手の映画が日本で立ち見になることはあるだろうか、と。

韓国では映画が特別なものではない。日常生活に溶け込んでいるといってもいいほどだ。映画好きでなくても、今どんな映画が上映されていて、概ねどういう評価か、観客数はどのくらいか、というのは自然に入ってくる情報だ。

(裏へ続く)

(次頁へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——